

1期4年間に於けるマニフェスト等の主な取組実績（概要版）

R2.6.23

私は、知事就任以来、「県民が主役の県政」を実現したい、県民の生活を少しでも良くしたい、そういう思いで走り続けよう、そう決意し取り組んできました。「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」そう思える鹿児島を目指し、県民の皆様にお示したマニフェスト等に掲げる施策の実現に向けましては、これまで、様々な分野に全力で取り組み、マニフェスト等に掲げた項目については、実施又は実施に向けた取組を行ってきたところです。

各年度の当初予算	歳入・歳出両面にわたる徹底した行財政改革に取り組み、毎年度、財源不足の生じない予算編成を行うとともに、本県独自に発行する県債残高を約750億円減少させてきました。 その上で、私の重点施策の2本柱である「子育て支援」と「高齢者の生き生き支援」をはじめとした様々な分野に全力で取り組むための予算を計上し、当初予算総額は、平成30年度以降毎年度増加してきました。
新型コロナウイルス感染症への対応	新型コロナウイルス感染症については、感染症拡大により、県民生活・県経済に大きな影響が及んでおり、中小企業の方々や県民の皆様が、これまでに経験したことがない非常に厳しい状況にあることを踏まえ、県民の声に寄り添いながら、中小企業の支援や、働く場の創出等のほか、一時的に収入が減少し、生活状態が逼迫したひとり親家庭に対しましては、県独自の支援を行うなど、各般の対策を機動的に、スピーディーに、切れ目なく展開しているところです。

観光『世界から人が集まる鹿児島、観光で日本一に！』

- ★ 延べ宿泊者数が過去最高！（H29、30の2年連続）
- ★ 外国人延べ宿泊者数が過去最高！（H28から3年連続）
※知事就任前のH27からH30の伸び率は、九州全体の伸び率(+49.4%)を大きく上回る+102.4%
- ★ 観光入込客の観光消費額が過去最高！（H29、30の2年連続）
- ★ 鹿児島港のクルーズ船の受入実績が100回以上を達成！（H29から3年連続）
H30のクルーズ船観光客数は、過去最高！（県全体で約30万人、鹿児島港で約27万人）

農林水産業『世界に挑戦する鹿児島、農林水産業で日本一に！』

- ★ 農業産出額が過去最高（H28、29の2年連続）、全国第2位を達成！（H29、30）
※知事就任前のH27からH30の伸び率は、九州全体の伸び率(+1.8%)を大きく上回る+9.7%
- ★ 農林水産物の輸出額が過去最高！（H28年度から3か年度連続）
- ★ 第11回全国和牛能力共進会において、「和牛日本一」を獲得！
- ★ 県産品の販売促進や輸出拡大、ブランド力向上を目指し、知事トップセールスを224回実施！

医療・福祉『みんなが元気な鹿児島、医療福祉で日本一に！』

- ★ 子育て支援・高齢者の生き生き支援に、過去最大規模の関連予算を計上！
- ★ 子ども医療費について、医療機関等での窓口負担をなくす制度を開始！
H30.10～：住民税非課税世帯の未就学児を対象 ※R3.4月から、住民税非課税世帯の高校生まで拡充予定
- ★ 「子育てがしやすくなったと感じる人の割合」がH26年度から約3倍（7.6%→20.8%）に増加！
- ★ 子ども食堂を総合的に支援する制度を創設！

教育『歴史と教育の鹿児島、人材育成で日本一に！』

- ★ 明治維新150周年を契機に「かごしま青年塾」を開講し、次世代のリーダーを育成！
- ★ 県大会等へ参加する離島生徒に対し、その経費の一部を助成する制度を創設！（H29年度創設、R元年度までの延べ助成者数：15,142名）
- ★ 準要保護児童生徒に対する学校給食費の全額助成を実施する市町村数が増加！（知事就任前のH27年度から14市町村増加し、21市町村において実施）

産業・雇用『若者と女性が輝く鹿児島、産業・雇用で日本一に！』

- ★ 「再生可能エネルギー導入ビジョン2018」を策定し、再生可能エネルギーの供給においてトップクラスとなる「エネルギーパークかごしま」の実現に向けた取組を推進！
- ★ 「どんどん鹿児島女性の活躍応援団」を結成！
- ★ ベトナム・ハイズオン省と人材の安定的な受入れ等に関する連携協定を締結！

防災『安心して生活できる鹿児島、防災で日本一に！』

- ★ 「原子力安全・避難計画等防災専門委員会」を設置し、川内原発に係る安全性の確認や避難計画の検証などについて、技術的・専門的見地から意見・助言をいただくとともに、県民の皆様へわかりやすい情報発信などを実施！
- ★ これまでにない大規模な原子力防災訓練を実施！
- ★ 自然災害を未然に防ぐための防災予算を確保し、河川の寄洲除去や治山工事など県民の安心・安全を守る防災対策を推進！

（政治姿勢等）

- ★ 「県民が主役の県政」の実現に向け、地域の代表や各分野の方々や地域の現状や将来について意見交換を行う「知事と語ろう車座対話」を開催！
- ★ 毎年度、財源不足の生じない当初予算編成を行うとともに、本県独自に発行する県債残高を約750億円減少！
- ★ 「庁内職員による鹿児島の活性化委員会」を設置し、アイデアを事業化！